

## “自然とともに”

園長 高杉 洋史



風の中の運動会では、子どもたちの頑張りを目が潤みましたね。

運動会の季節は天気が気になるのですが、今年は安心して運動会が迎えられると油断をしている中で強風でした。

ところで私たちは本当に自然を壊したのかもしれない。8月は連日の36度越えて困りました。外遊びが危険な気温になってしまいました。それにもましてびっくりしたのは台風です。8号や10号で、幼稚園のユーカリの木が折れました。

でもそんなことは些細なことで、千葉県をはじめ、東日本の報道を目にすると、いつ私たちも同じような災害に遭わないとも限りません。防災計画も一応は作っていますが、今度の台風には歯が立ちそうにありません。今回と同程度の災害では運が良くても孤立かなと思っています。

農業の師匠の山路さんのところにお米があります。水害にあえば食べられなくなるし、もらいに行く道も水没するかもしれないし、電気が止まるとカセットコンロが頼みの綱になるのかと、報道番組を他山の石として対策を考えています。

今回一番教えられたのは、雨が上がった数時間後に川が増水することがあることです。自分のいるところより上流に降った雨のことに配慮することが大切なことと、大きな川の支流がどうなっているかも知識として持っていないといけないことを教えられました。水害での水深が4メートルとか5メートルになることも信じられません。スクールバス運行判断の責任の重さを感じます。

もう一つ、携帯電話のことで。電話線が切れても携帯は電波なので大丈夫だろうと思っていたのですが、基地局の間は電柱の光ケーブルで繋がっているとのこと。

今回の千葉県の災害のように電柱が軒並み倒されると携帯も役に立ちそうもありません。ラジオファンの園長ですがネット経由で聞いているので、電波で聞こえるラジオを押し入れの中から探し出そうと思いが上がるというものです。今夏の災害を教訓にして、本園の防災計画をもう一段改善していきます。

皆様のおかげで運動会も終わり、収穫の秋となりました。実は夏の早朝、スクールバスの運転をしていただいていた皆さんに芋畑の草取りをしていただきました。農業の師匠の山路さんの腕前もさることながら、汗をかいた皆さんの努力の結果でしょう豊作です。あとは全員の芋ほりが終わるまで、イノシシさん来ないでねと願うばかりです。収穫した芋は1週間くらい置くと甘みが増すそうです。焼き芋の時はゆっくり加熱した方がおいしくできるとも教わりました。サツマイモの故郷は暖かい地方のこと、保存は18度以上がいいようです。したがって冷蔵庫の野菜室に入れない方が無難です。

ドリカムタイムで子どもたちと植えたホウレンソウの葉が美しいです。大根とニンジンも競うように伸びています。玄関周辺の黒のプランターを見てやってください。

